



特別賞



林野分野

地域が愛する野底山の自然とモリアオガエルの保全
地域で支える「ふれあい林道サポート事業」

取組概要

飯田市が管理する林道野底山線は、憩いの場である「野底山森林公園」を起点とし、野底川に沿って上流に向かう野底山一帯の管理道で、地域の水源林として森林整備や林業生産活動を行う重要な役割を果たしている。林道周辺の山林面積1,400haのうち94%は上郷野底山財産区が所有し、市の林道管理業務の一部を「ふれあい林道サポート事業」として、上郷野底山財産区、上郷野底山愛護会が受託し、維持管理活動を行う取組。

受賞理由

行政、森林所有者、地域住民団体の3者が協同した取組であり、年3回900名以上が参加し、10年以上継続していることで林道施設が健全に保たれ、市の維持管理費が従前と比べ50%以上削減していることや、管理区間を明確化したことにより、区間毎に競争意識が働き、維持管理の質が向上したことが評価された。

取組のポイント

「ふれあい林道サポート事業」の実施にあたり、林道の起点から約4kmの区間において、標柱設置による10カ所を区分し、各区分ごとに担当地区を明確化することによりスムーズな維持管理作業ができるようになった。また、各地区が競うように作業内容や出来栄を良くしようと取り組むようになり、林道管理の優良事例として評価されるようになった。

受賞者について

飯田市上郷野底山財産区議会議員
(平成29年9月12日～平成33年9月11日)

受賞者

飯田市上郷野底山財産区
議長 中村 誠
飯田市上郷野底山愛護会
会長 岩崎 守倫

コメント

地域の財産である野底山を保全管理するための活動に尽力していることが評価され、大変光栄に思います。今後も「ふれあい林道サポート事業」として、森林所有者である財産区と上郷野底山愛護会が、ボランティアで落石の除去、側溝整備、枝払い等の維持管理を行って地域に貢献したいと思います。

団体概要

飯田市上郷野底山財産区は、平成5年に飯田市と合併する際に当時の上郷町山林約1499haを引き継ぎ管理運営するため設置された特別地方公共団体である。財産区議員10名を中心に境界周りや植林下草刈り等年間通じて幅広く活動しており、適正に管理された財産区有林はSGEC森林管理認証を取得しており、持続可能な森林経営を行っている。

問い合わせ先

飯田市産業経済部林務課
森林保全係長 井田光則
0265-24-4567/ic1810@city.iida.lg.jp